

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	このて			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの発達の状況をご家族と一緒に共有して、あそびや生活の中でお子さんの力を引き出すことを考えている。	お子さんの発達の課題や強みについて職員やご家族と話す機会を多くもつようにしている。	お子さんの発達のとらえ方を職員間で共有し、どの職種でも成長を共有し合うよう、勉強会やミーティングを多く行っていく。
2	少人数なので、お子さん一人ひとり、一家族一家族に職員が寄り添った支援をすることができる。	お迎えの時のやおたより帳にて、その日の様子や成長していること、普段の何気ない話を大切に時間をもっている。	職員間でお子さんの成長を共有し、職種に関係なくご家族とお子さんの成長を喜べるよう、ケース会や情報共有を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内やご家族への周知や情報共有	周知や情報を発信する職員と時間の不足	役割分担をする。スケジュールに組み込むなど工夫して発信していく。担当職員を増やす。
2			
3			